

江南区自治協議会 令和2年度 第6回 まちづくり部会 会議概要

【開催概要】

- 名称：江南区自治協議会 令和2年度 第6回まちづくり部会
- 日時：令和2年11月26日（木）午後3時～午後3時55分
- 場所：江南区役所 201 会議室
- 出席委員：坂井委員、小野委員、見田委員、豊岡委員、小林委員 以上5名
（欠席：畑野委員、田村委員、石崎委員、塚原委員 以上4名）
- 事務局：建設課長補佐、同課係長、産業振興課長補佐、地域総務課長補佐、同課係長
以上5名
- 傍聴0名

【審議内容等】

1. 都市計画マスタープランの改定に伴う区別構想の更新案について

- ・事務局より、都市計画マスタープランの改定に伴う区別構想の更新案について、前回の部会での意見内容を踏まえた修正案が示され了承された。次回12月本会議で更新案を報告する。

2. 江南区親善大使「車両貼付け用マグネット」について

- ・事務局より、前回部会で意見のあった江南区親善大使の「車両貼付け用マグネット」について、デザイン案及び参考見積額が示され、その後意見交換を行った。

<主な意見>

- ・事務局からデザイン案が2つ示されたが、キャラクターデザインは既存のものを活用する形でよいのではないか。
- ・当初の目的は親善大使のPRであるため、現在公用車に貼付しているマグネットの更新は別な形で対応すべきでないか。
- ・区バス・住民バスに貼り付ける大きいサイズのもの、公用車に貼り付ける小さいサイズのものを作成してはどうか。また、小さいサイズのマグネットは、公用車に限らず活用いただけることから、多めに作成していただきたい。

⇒既存データを活用したデザインで、区バス・住民バス用と公用車のマグネットを作成することとした。

3. 新潟交通路線バスの冬ダイヤ改正に伴う区内の影響について

- ・事務局より、前回の部会で意見のあった新潟交通路線バスの冬ダイヤ改正に伴う区内の影響について説明があり、その後意見交換を行った。

<事務局より報告>

- ・今回の冬ダイヤ改正で、江南区を通る路線バスについては、平日で 34 便、土休日で 37 便、合計 71 便の減便があった。
- ・主な減便は平日の日中や土休日など、利用者が比較的少ない時間帯を減便しており、通勤・通学時間帯での便数は確保されている。

<主な意見>

- ・新潟交通の減便や持続可能な公共交通について、市としての対策は行っているのか
⇒市内の中高生などにりゅーとポイント等の配布を行うほか、路線バスの日乗車券、タクシー利用についての助成を行っている。
- ・バスだけでなく、企業誘致や産業振興も含めて、まちづくり全体として考える必要がある。

江南区自治協議会 令和2年度 第6回 安心安全部会 会議概要

【開催概要】

- 名称：江南区自治協議会 令和2年度 第5回安心安全部会
- 日時：令和2年11月26日（木）午後3時～午後3時40分
- 場所：江南区役所 3階 302会議室
- 出席委員：石井委員、阿部委員、石澤委員、今井委員、山本委員、櫻田委員、山崎委員、藤田委員、和澄委員、佐藤委員 以上10名
- 事務局：健康福祉課長、地域総務課主査、同課副主査 以上3名
- 傍聴：0名

【審議内容等】

1 新しいカタチの防災訓練について

事務局から、公民館事業「新しいカタチの防災訓練」についてチラシの配布と共催依頼があり、昨年同様、参加協力と各々の団体での周知に協力することとした。

2 フレイル予防について

本会議での R3 区づくり事業「江南区ふれあい・ささえあいプランの推進」の説明に関連して、意見交換を行った。

<主な意見>

- ・フレイルとはどのような状態か、フレイルにならないためにはどうすればよいか。
- ・東京大学のチームが考案したフレイルチェック表がある。簡単な項目なので、地域の茶の間や老人クラブなどで活用してはどうか。

3 天野河川防災ステーションについて

第5期自治協委員研修会で視察した天野河川防災ステーションについて、交流の場として活用できないか国から地域へ問い合わせが来ている。

<主な意見>

- ・委員改選もあり、どこにどんなものができるのかわからない人もいるので、勉強会をしたらどうか。
- ・市はどのように関わっていくのか。

⇒次回の部会で地域総務課防災担当から防災ステーションについて説明してもらう。

江南区自治協議会 令和2年度 第6回 環境・教育部会 会議概要

【開催概要】

- 名称：江南区自治協議会 令和2年度 第6回環境・教育部会
- 日時：令和2年11月26日（木）午後3時～午後4時
- 場所：江南区役所 多目的ホール
- 出席委員：渡邊寿子委員、上村委員、横木委員、横田委員、中野委員 以上5名
（欠席：渡辺啓子委員、小形委員、間島委員、湯田委員、高橋委員 以上5名）
- 事務局：区民生活課長、産業振興課長、江南区教育支援センター所長、亀田地区公民館長、亀田図書館長、地域総務課主査、同課副主査
- 傍聴0名

【審議内容等】

1 アンケートについて

<事務局より説明>

- ・各中学校へ協力依頼を行い、すべての学校で快く引き受けていただいた。結果についても提供してほしいとのことであった。
- ・予定どおり区内公立中学校2年生を対象に2月上旬にWEBアンケートを実施する。
- ・委託事業者はこれから決定するが、まずはアンケートで何を聞きたいか検討したい。
参考：他都市の事例（白井市のアンケート）

<主な意見>

- ・生活環境、教育、公共交通、防災面などの項目ごとに細かく聞くイメージであった。抽象的な内容だと事業化するのが難しいのではないか。せっかくお金をかけてアンケートを行うのであれば、細かく聞きたい。
- ・アンケートの内容は単純・簡単にして、その結果を事業化するのは私たちの仕事ではないか。
- ・白井市のアンケートを江南区に置き換える形でいいのではないか。そこにほかに聞きたいことを付け加える感じでどうか。
- ・前回のこども会議を踏まえて、内容を検討してはどうか。
- ・前回のこども会議は小学生に自分たちのまちは好きか、どこが好きかといった子どもらしい内容だったので、切り離して考えてもよい。
- ・このアンケートは単年度で終わりではなく、継続して行った方がいい。3～5年に1回実施し、時代の変化などを把握してもいいのではないか。
- ・良いところを伸ばしていくのか、悪いところを改善していくのか、どちらか決めるべきではないか。また、どんなジャンルを聞くか絞った方がいいのではないか。

⇒次回までに何を聞きたいか、各自検討する。

2 令和3年度自治協提案事業について

- ・フロアカーリング体験交流会は、来年の状況を見て実施の判断をすべきではないか。
- ・オンライン会議でのイベントについては、引き続き検討する。